

議 事 録

会議の名称	第 2 回上牧町学校統合準備委員会（総務部会）会議
開催日時	令和 4 年 12 月 15 日 午後 1 時 00 分から
開催場所	上牧町役場 本庁 2 階 第 2 会議室
出席者 （委員等）	西尾部会長、岸本委員、西浦委員、大河内委員、竹本委員、 上西委員
出席者 （事務局等）	教育総務課長、教育総務課長補佐、教育総務課 主事
傍聴の有無	なし
議事録の 作成方法	要点筆記（簡易対話形式）
会議の議事	1. 開会 2. 各検討項目の決定方法等（事務局案）について 3. 統合コンセプト（学校教育目標等）の検討について 4. その他（連絡事項等） 5. 閉会
会議資料	・総務部会資料 3-2：「各検討項目の決定方法等（事務局案） について」 ・総務部会資料 4：「統合コンセプト（学校教育目標等）の検 討について」
決定事項	なし
特記事項	なし
次回日程	未定（1 月中を目途に調整）

内 容（簡 易 対 話 形 式）

1. 開会

事務局 定刻により開会する。

 なお、本会議は「上牧町審議会等の設置及び運営に関する規則」第10条の規定に基づいて公開とし、会議録作成のためＩＣレコーダーで録音していることについてご了承いただきたい。

 それでは、配付資料について確認する。

（事務局が配付資料を確認）

2. 各検討項目の決定方法等（事務局案）について

西尾部会長 それでは案件事項を進める。

 まず、総務部会資料3-2：「各検討項目の決定方法等（事務局案）について」に関して、事務局から説明をお願いします。

（資料について事務局が説明）

西尾部会長 ただいまの説明について、何か質問等はあるか。

上西委員 資料中 No.2 の校章に関して、美術部の生徒が発案することとなっているが、具体的にはどのように進めていくのか。

事務局 中学校の美術部の生徒にいくつかの案を作成してもらい、その案を部会で選定することを想定している。なお、依頼する際には事前に統合コンセプトを提示する。

竹本委員 コンセプトを先に決めておくことは非常に大切であることから、P.2のスケジュール案に記載の進め方でいいと思う。

西尾部会長 校章に関して、生徒から提示された案がそのまま最終的なものになるわけではなく、部会での協議はもとより、学校統合準備委員会及び教育委員会に上程するなかで調整が入る可能性もある。そのことは事前に生徒へ伝えておく必要がある。
ほかに意見等はあるか。

(意見等なし)

3. 統合コンセプト(学校教育目標等)の検討について

西尾部会長 それでは案件事項を進める。
続いて、総務部会資料4:「統合コンセプト(学校教育目標等)の検討について」に関して、事務局から説明をお願いします。

(資料について事務局が説明)

西尾部会長 ただいまの説明について、何か質問等はあるか。

竹本委員 現在の学校教育目標に使われているワードは、広く一般的に使われているものであるが、子どもたちにも分かりやすいよう考えられているものでもあり、これらを省くことはできない。資料中、既存ワードの継承の次に課題克服に向けたワードの考案とあるが、この部分が大切であると考え。学校教育部会では学力の低さに関する意見が出ていたが、そういった課題の克服を目指すようなコンセプトを提示できればいいと思う。

西尾部会長 現場の考えも確認する必要がある。

竹本委員 私は中学校の国際交流事業に携わっているのだが、台湾の生徒たちに比べると上牧町の中学生はおとなしいと感じる。リモートでの記念撮影の際、台湾の生徒たちはカメラに寄ってきてはしゃいでいるのに対し、こちらはじっと撮影している。恥ずかしい等の気持ちもあると思うが、弾けるときは弾ければいいと思うし、思いっきりふざけてもいいと思う。「自分を出す」ということは、生きる力にもつながっていく。

上西委員 「たくましい心身」や「知・徳・体」は「上牧町学び推進プラン」にも用いられているワードであり、県の教育指針とも合致する部分であるので継承していく必要がある。上牧中学校の学校教育目標に3つの柱があるが、その上にスローガンを設定するといいのではないか。

竹本委員 高校でも「〇〇周年」などを契機に新たなスローガンを生徒から募集することがある。印象的なもので言えば「笑顔の数だけ夢がある」というスローガンがあった。スローガンからは学校の雰囲気等を感じることができる。

西尾部会長 学校教育目標の上にくるような、それを見ればどんな学校かイメージできるようなスローガンが設定できればいいと思う。現場の課題という点で、何か意見等はあるか。

岸本委員 校長によって、また時代によって変えたいと思うこともあると思うが、そもそも学校が思うように変えていいものなのか。町から「こういう教育をしたい」という一定の方針を示していただき、それに準ずる形で各学校が目標を設定するという考え

方もあると思う。

竹本委員 町の方針と異なる考えを持っている校長先生もいるかもしれない。やはり学校教育目標は現場発信で見直していくべきものではないか。

岸本委員 教育に対する町と学校の方針が正反対ではよくないと思う。すべてにおいて町の方針をということではなく、一定の方針があれば各校で学校教育目標も設定しやすいのではないかと考えた次第である。

事務局 上牧第二中学校の方針にある「第２期奈良県教育振興大綱」は令和３年のものなので、少なくとも上牧第二中学校においては学校教育目標が見直されている。現在の学校教育目標にある普遍的な部分は継承していくことを前提とし、課題から新たな目標となるものを考案するという流れになると考えているが、体裁に関しては事務局案として改めて示すこともできるので、本日の会議ではブレインストーミング形式で案の種となるワードを出し合っていただければと考えている。

西尾部会長 資料 No. 3-2 のスケジュール案では２月中に上程することとなっているが、概ね１月中には取りまとめている必要があるという認識でよいか。

事務局 「目指す生徒像」など、学校教育目標の詳細な部分については今後じっくりと煮詰めていく必要があるので、部会で検討していただくのはあくまでも仮の学校教育目標である。まずは全体の構成から検討いただければと考えている。

竹本委員	資料 No.4 の③にあるように、両校が抱える課題の共有というところがポイントになると思う。国際交流事業に携わる立場としては、「グローバル」等のワードを盛り込みたいという気持ちもある。
西浦委員	本校（上牧第二中学校）で毎年感じる課題としては、小学校から中学校にかけて人間関係に変化がない、いわゆる「小」中体制からくる人間関係の固定化である。本校の学校教育目標には「主体的に」という言葉を用いているが、主体的にコミュニケーションを取る等、新たな人間関係をつくる力という点で、統合によって「小」中体制となれば課題解消につながっていくのではないかと考えている。
西尾部会長	固定化された人間関係という点では一長一短な側面もあると思うが、小さなコミュニティから大きなコミュニティに出た際に委縮してしまう等も懸念される。そういった意味で、大きなコミュニティのなかで「自分を出す」ということは大切であると感じる。
岸本委員	先ほど少し意見が出ていたが、学力に関する課題を克服するということは目標としてあると思う。
大河内委員	「多様性」「コミュニケーション」など、現在の学校教育目標に溶け込ませる形で集約できる部分もあると思う。
岸本委員	ご指摘のとおり、集約できる部分は集約する必要がある。本校の学校教育目標では3つの柱としているが、柱が多すぎると教職員間や生徒間で共有しにくく、目標が不明瞭になってしまうことが懸念される。

上西委員 スローガンの下に学校教育目標を設定し、その下に「目指す生徒像」等の詳細を設定するという構成が最もわかりやすいのではないかと考える。

西尾部会長 根幹部分は似ているので、上牧第二中学校の学校教育目標も要約すれば上牧中学校のようになると思う。本日の意見等を踏まえ、次回の会議にて事務局からたたき台を提示することは可能か。

事務局 承知した。それでは、次回の会議では事務局から提示する学校教育目標等に関するたたき台を基にした協議、それと前回会議でも説明したとおり制服業者を招いた勉強会の２本立てということで調整を進めてよいか。

(異議等なし)

４．その他（連絡事項等）

西尾部会長 それでは、委員又は事務局から何か連絡事項等はあるか。

岸本委員 学校教育目標等の検討に当たっては、教育長等の意見も聞く必要があると思うので、その点についても事務局にて調整いただくようお願いしたい。

事務局 部会で決定した内容が根底から覆る等の事態にならぬよう、適時調整していきたいと考えている。

西尾部会長 ほかに連絡事項等はあるか。

(連絡事項等なし)

西尾部会長 それでは、本日の案件事項は以上となるため事務局に進行を移したいと思う。

5. 閉会

事務局 以上をもって第2回上牧町学校統合準備委員会（総務部会）会議を閉会する。

以上